

## 平成 28 年度第 4 回宝塚市労働問題審議会小委員会 議事録

日 時：平成 29 年 1 月 19 日（木）10 時 00 分～11 時 30 分

会 場：宝塚市役所 2-4 会議室

出席委員：上林会長、小池副会長、橘田委員、志方委員、  
和田委員、室井委員

事務局：土屋産業文化部長、下浦産業振興室長、桜井商工勤  
労課長、溝渕係長、竹辺

関係課：障害福祉課長、せいかつ支援課長、契約課長、地域福祉  
課副課長（代理）、人権男女共同参画課長

### 1. 開会

事務局より開会のあいさつの後、配布資料及び本日の議事について確認した。

### 2. 署名委員の指名

会長より、議事録の署名委員に志方委員と和田委員が指名された。

### 3. 傍聴の受け入れ

傍聴希望者はいなかった。

### 4. 議事（結果）

#### 報告（1）前回全体会からパブリック・コメント開始までの計画（案）の変更点について

事務局より、前回全体会からパブリック・コメント開始までの計画（案）の変更点について資料「前回全体会からパブリック・コメント開始までの計画（案）の変更点について」に基づき説明した。委員からの主な意見は、後記「委員の主な意見とやり取り」のとおり。

#### 議題（1）宝塚市労働施策推進計画（案）パブリック・コメント等の結果と対応について

事務局より、宝塚市労働施策推進計画（案）パブリック・コメント等の結果と対応について資料「宝塚市労働施策推進計画（案）」に対する「意見の概要」と「意見に対する考え方」、「宝塚市労働施策推進計画（案）」に対するパブリック・コメント手続きでの修正内容の一覧表、「宝塚市労働施策推進計画（案）」に対するパブリック・コメント手続き以外での修正内容の一覧表」に基づき説明した。委員からの主な意見は、後記「委員の主な意見とやり取り」のとおり。

## 議題（２）答申（案）について

事務局より、「宝塚市労働施策推進計画」及び「宝塚市労働施策推進計画概要版」を答申として市長に提出する旨を説明した。委員からの主な意見は、後記「委員の主な意見とやり取り」のとおり。

### 《委員の主な意見とやり取り》

#### 報告（１）前回全体会からパブリック・コメント開始までの計画（案）の変更点について

[副会長] 68ページが白紙だが、このページを差し込む必要はあるのか。また、基本方針3「安心して働く事ができる職場づくり」の「（１）労働者の権利擁護及び労働実態の把握の推進」について、リード文に“防止を啓発していく”という表現があるが、違和感があるので適切な表現を検討して欲しい。

(事務局) 編集の都合上白紙ページを差し込んでいる箇所があるが、ページ構成を検討する。“防止を啓発していく”についても適切な表現に改める。

[委員] 「（１）労働者の権利擁護及び労働実態の把握の推進」について、リード文に“相談窓口の周知を図ります”とあるが、実際にはどのようなやり方で周知していくのか。

(事務局) 計画の資料編として相談窓口等の一覧を掲載する。今後も周知を図っていく。

[委員] 現在広報等で相談窓口等の周知を行っているのか。

(事務局) 市が設置している相談窓口等は毎月市の広報に掲載しているが、国や県が主体の労働条件相談ほっとラインや総合労働相談コーナーは掲載していない。

[委員] 資料編の相談窓口等の一覧には連絡先として電話番号しか載っていないが、聴覚障がいがある人のためにFAX番号も掲載して欲しい。

(事務局) FAX番号も含めて掲載する。

#### 議題（１）宝塚市労働施策推進計画（案）パブリック・コメント等の結果と対応について

[委員] パブリック・コメントのNo.10に人材活躍センターを創設して欲しいという意見があるが、意見に対する市の考え方がズレているように思う。市としては、計画に則って施策を推進していくという風に読めてしまう。いただいたコメントには今までにないセンターを作りたいという思いが込められているので、市としては難しい

かもしれないが、長期的なビジョンとして念頭に置きながら検討するというような前向きな返答にはいかがだろうか。

(事務局) いただいたコメントは、労働分野だけでなく福祉分野も含めた広範囲な人材活用のためのセンターをイメージされていると思う。労働施策の実情と計画の流れをふまえて返答しているが、市では現在エイジフレンドリーシティを目指しており、大きな目標の下で労働施策も高い目標を掲げて推進しているところである。具体策はまだ描けていないが、いただいたコメントの意向もふまえて高い目標を持って推進していこうとしていることが伝わるように、福祉部門とも調整をはかりながら返答の修正を行いたいと思う。

[委員] 今のご意見に関連してだが、ワークサポート宝塚は国の施策として、地方との一体的事業として当初女性や若者に対する就労支援という目的で、市と共同で事業を推進してきた。一方で、高齢者が増えていることも承知している。しかし、人材不足ということもありうまく機能していないことも事実である。ハローワーク西宮管内では福祉系の求人が4割近くあるので、人材不足の解消に向けて、宝塚市に限らず国の施策としても、ハローワーク西宮の施策としても考えていく必要がある。また、ワークサポート宝塚の運営についても、国の機関である我々（西宮公共職業安定所）と協議する場で取り上げていきたい。

[委員] 正直に言うと、今回の会議資料が手元に届いたのが3日前のことであり十分に目を通せていない。事務局にはがんばっていただいているが、これでは十分な議論ができない。ぜひ改善して欲しい。

(事務局) 最終の審議会では、早期の資料送付ができるよう努めます。

[会長] 今回の資料はページ番号が入っていないものがあるので、手書きでもいいのでページ番号を入れて欲しい。

(事務局) 次回必ずページ番号を記載する。

[会長] パブリック・コメントの結果と対応について、全体会に付議してよいか。(異議なし)

## 議題(2) 答申(案)について

[副会長] 答申(案)を全体会に提出した後、修正の余地はあるのか。

(事務局) 小委員会としては本日をもって最終とする。次回全体会の際に皆様の承認を得られれば、当日の最後に市長に対して答申を行う。もし全体会の審議のうえ修正が必要となった場合は、当日は手書きで修正を加えたものを答申するが、後日製本の際に修正したものに差替える。これまで議論を積み重ねてきたうえでの答申(案)なので、大きな変更はないと考えている。

[会長] 答申(案)を全体会に付議してよいか。(異議なし)

## 5. その他

- ・事務局より、商店街空き店舗活用事業を基本方針1の「(3) 産業振興と雇用・就業機会の拡大・創出」に追加する旨の説明を行った。
- ・事務局より3月6日の宝塚市労働問題審議会全体会にて答申(案)を付議し、承認が得られれば、会長から市長へ答申を行う旨の説明を行った。
- ・パブリック・コメントの結果と対応について、全体会前に市の内部の会議で報告する。また、計画(案)の最終見直しを事務局で行い、修正が必要な場合は会長に諮った後に修正する旨の説明を行った。

## 6. 閉会

事務局より閉会のあいさつ

— 以 上 —